

平成18年3月23日
原子力安全対策課
(17-117)
<19時30分記者発表>

大飯発電所3・4号機の廃棄物処理建屋内での火災について (調査状況)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所3、4号機(加圧水型軽水炉;3,4号機ともに定格電気出力118.0万kW)の廃棄物処理建屋内において、本日18時40分頃、火災報知器が動作した。直ちに現場を確認した結果、建屋3階のエレベーター出口に煙が充満しており、防火扉が動作していることが判明した。

当時、同建屋内にいた作業員3名のうち2名が煙を吸ったと思われるため、病院に搬送されたが、診察を受けた後、同日中に発電所に戻った。また、大飯発電所3号機は定格熱出力一定運転中で、大飯4号機は定格熱出力で調整運転中であるが、プラントへの影響はなく、環境への放射能の影響もなかった。

消防および関西電力社員が現場に立ち入って状況を確認したところ、20時15分に建屋3階のフィルタバルブ室上部の中2階部で火を確認したため、消火器等で消火作業を行った結果、同日22時35分に消防が鎮火を確認した。

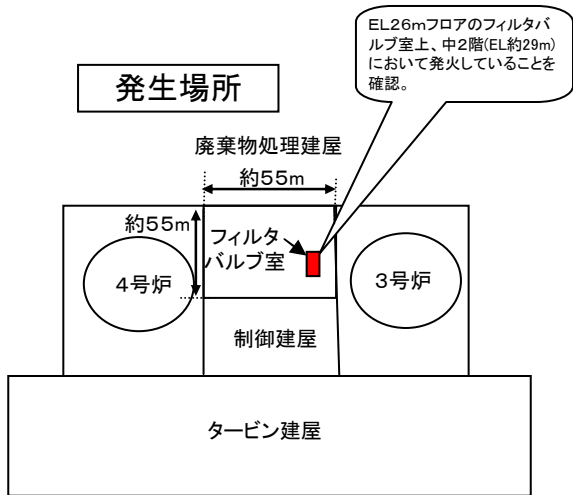
[平成18年3月22日 記者発表済み]

現場調査の結果、火災が発生した箇所は、フィルタバルブ室上部の中2階部の、協力会社が工具や資材などを保管していた場所であることが確認された。また、本日実施された消防および警察の現場検証の結果、最も激しく燃えていたのは防火シート等を保管していた機材整理棚の中段部と判明した。

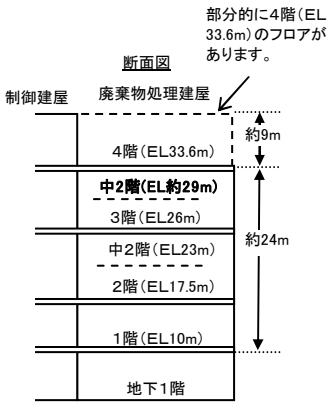
引き続き、詳細な出火原因の調査を実施する予定である。

問い合わせ先(担当：嶋崎)
内線2352・直通0776(20)0314

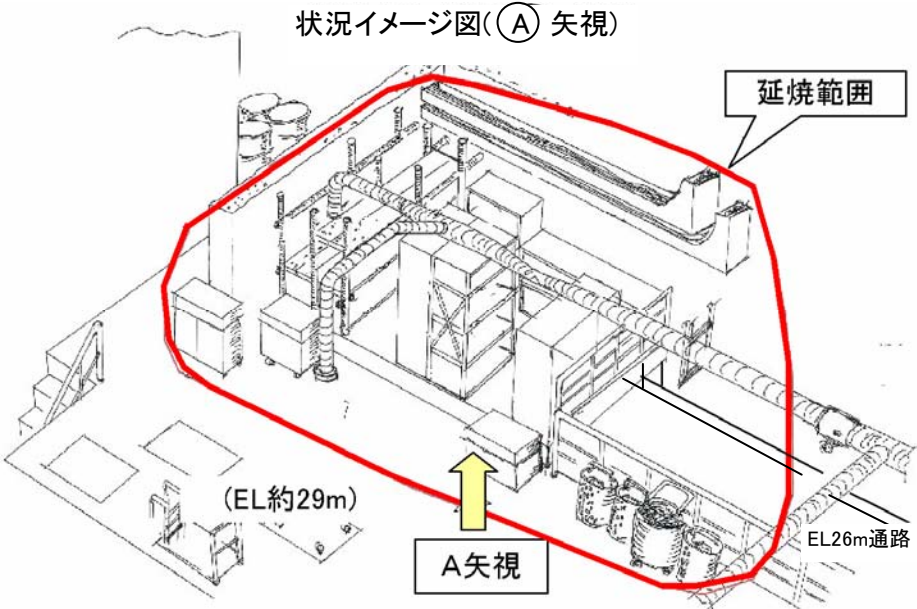
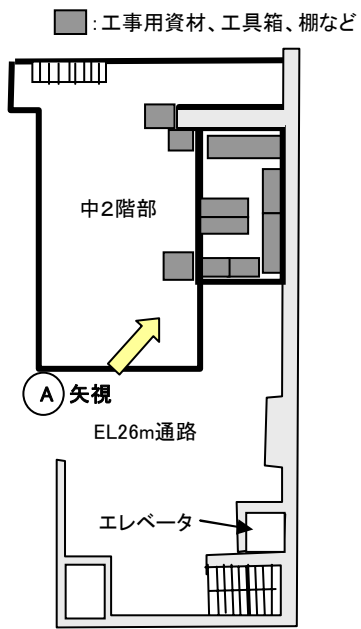
大飯発電所3. 4号機 廃棄物処理建屋内での火災について



EL26mフロアのフィルターバルブ室上、中2階(EL約29m)において発火していることを確認。



フィルターバルブ室上 中2階(EL約29m)平面図



状況写真(A矢視)



最も激しく燃えていた箇所(中段)

